

# 全国保健師長会 平成 24-25 年度 被災地支援活動報告

## 1 陸前高田市健康調査ボランティア活動

被災地陸前高田市が、被災後の全世帯対象の住民健康調査(約 5000 世帯)を実施するにあたり、職員や岩手県・近隣自治体応援派遣だけでは不足する保健師専門職マンパワーを、全国保健師長会が斡旋し、約 60 名のボランティア保健師(各自治体の現役保健師職員)を確保、専門技術を駆使し円滑な調査と、同時に被災者の心のケアを実施した。

活動結果や聞き取った対象者情報は、陸前高田市健康推進課に報告・引継ぎを実施。調査全体の統括は陸前高田市が担う。

全国保健師長会予算より参加者へ一律 1 万円の交通費援助を実施し、そのほかの経費については参加者負担。

活動実施日・参加人数

第 1 班:平成 24 年 10 月 26 日(金)～10 月 29 日(月)	13 名参加
第 2 班:平成 24 年 11 月 23 日(金)～11 月 26 日(月)	22 名参加
第 3 班:平成 24 年 12 月 21 日(金)～11 月 24 日(月)	22 名参加

※ 1 班～3 班まで、計 67 名の保健師職員が調査活動に従事。

<参考:別添 1\_2013.3 公衆衛生情報(抜粋)>

## 2 被災社協職員のための支援プロジェクト事業

各市町村社会福祉協議会の職員は、自らも被災者でありながら災害ボランティアセンターの運営、生活支援相談による訪問活動など、被災者の様々な支援活動を行ってきたが、支援者自身の心身の疲労が顕著となってきたため、当該支援者自身への支援を全国保健師長会が斡旋し、次の実施期間にて支援を実施した。

<平成 24 年度>

実施期間:平成 24 年 10 月 9 日(火)～平成 25 年 3 月 24 日(日)隔週土日

事業対象:陸前高田市社会福祉協議会及び大船渡市社会福祉協議会

従事者実数:10 名

支援内容:①傾聴(心的チェック)

②健康チェック(身体的ケア)

③生活支援相談員等への相談時のアドバイス

④メンタル不調職員への受診、服薬等のアドバイス他

<参考:別添 1\_2013.3 公衆衛生情報(抜粋)>

<平成 25 年度>

実施期間:平成 25 年 6 月～平成 26 年 3 月隔週土日

事業対象:陸前高田市社会福祉協議会及び釜石市社会福祉協議会

従事者実数、支援内容については平成 24 年度事業同様

### 3 . 「東日本大震災で被災した県外避難親子の交流会」事業のボランティア活動への参加

平成 24 年 8 月 20 日～24 日に、日本子ども家庭総合研究所(社会福祉法人母子愛育会)とこどもの城との連携で「遊びを通じた親子支援プロジェクト」がこどもの城で実施された。こどもの城への招待、保護者のための各種相談コーナーや託児スペース等が設置され、専門家による親子支援事業が展開された。全国保健師長会では、この事業にボランティアとして参加し、来所した親子のこころとからだの健康相談を行った。

実施期間:平成 24 年 8 月 20 日・22 日・23 日・24 日の 4 日間

全国保健師長会より 4 人の保健師が従事した。

<参考:別添 2\_2013.2 公衆衛生情報(抜粋)>

### 4 . 全国保健師長会と福島県内保健師の交流会

東日本大震災、原発事故に対応している福島県内の保健師の心のフォローアップ事業として交流会を実施。OB 会員による講師派遣。

<活動実施日>

第 1 回交流会:平成 24 年 9 月 9 日(日)郡山市

第 2 回交流会:平成 25 年 2 月 23 日(土)いわき市

講師:大場 エミ 氏(前全国保健師長会会長)

藤山 明美 氏(前全国保健師長会常任理事)

<参考:別添 2\_2013.2 公衆衛生情報(抜粋)>